

教育や発達に関する相談の窓口

保護者の皆さんや教職員からの相談に専門の担当者が応じています。相談は無料です。相談内容等の秘密は厳守します。お申込みの際は、相談内容や相談希望日等を、あらかじめ電話でお知らせください。

特別支援学校

学校名	電話番号
県立視覚支援学校	018-889-8571
県立聴覚支援学校	018-889-8572
県立秋田きらり支援学校	018-889-8573
県立比内支援学校	0186-55-2131
県立比内支援学校 かつの校	0186-22-0253
県立比内支援学校 たかのす校	0186-66-2128
県立能代支援学校	0185-55-0691
県立支援学校 天王みどり学園	018-870-4611
県立栗田支援学校	018-828-1162
県立ゆり支援学校	0184-27-2630
県立ゆり支援学校 道川分教室	0184-62-6136
県立大曲支援学校	0187-68-4123
県立大曲支援学校 せんぼく校	0187-42-8568
県立横手支援学校	0182-33-4166
県立稲川支援学校	0183-42-4424
秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校	018-862-8583

各教育事務所・出張所

教育事務所・出張所名	電話番号
北教育事務所	0186-62-1217
同 鹿角出張所	0186-23-3302
同 山本出張所	0185-52-3369
中央教育事務所	018-860-3244
同 由利出張所	0184-22-3673
南教育事務所	0182-32-1101
同 仙北出張所	0187-63-3477
同 雄勝出張所	0183-73-1106

秋田県総合教育センター

相談窓口	電話番号
すこやか電話相談	018-873-7206 0120-377-804
支援班特別支援教育担当	018-873-7215

各市町村においても、相談会や健康相談等を行っています。詳しくはお住まいの市町村教育委員会や保健・福祉の窓口へお問い合わせください。

特別支援教育地域センター等

地区名	設置校名	電話番号
鹿角市・鹿角郡	花輪小学校*	0186-23-3302
大館市・北秋田市・北秋田郡	●桂城小学校	0186-42-4910 (専)
	●鷹巣小学校	0186-62-9814 (専)
能代市・山本郡	●湊城南小学校	0185-52-0468 (専)
男鹿市・潟上市・南秋田郡	●船川第一小学校	0185-24-3231
秋田市	●秋田市教育研究所	018-865-2530
由利本荘市・にかほ市	●鶴舞小学校	0184-22-3558 (専)
	●(岩谷小学校)	0184-65-2220
大仙市・仙北市・仙北郡	●花館小学校	0187-63-1022
	●角館小学校*	0187-63-3477
横手市	●朝倉小学校	0182-32-6070
湯沢市・雄勝郡	●湯沢西小学校	0183-72-5150

() は相談ルーム設置校

●特別支援教育アドバイザーによる相談対応 (週3回程度)

*各教育事務所・出張所の特別支援教育担当指導主事による相談対応

令和3年度

障害のある子どもたちの学校・学級紹介

いっしょうけんめいが好きです



あきた総合支援エリア

県立特別支援学校

ロービジョン支援センター (県立視覚支援学校内)
(サテライト教室・教育相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
TEL:018-889-8571

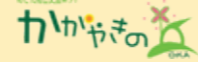
きこえとことば支援センター (県立聴覚支援学校内)
(サテライト教室・教育相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
TEL:018-889-8572
TEL:090-8784-6302 (支援センター直通)
直通メール: cho-shien0291@docomo.ne.jp

病弱教育サポートセンター (県立秋田きらり支援学校内)
(病弱教育に関する相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
TEL:018-889-8573
TEL:018-838-1181 (サポートセンター直通)
直通メール: kirari-support@akita-pref.ed.jp

〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番1号

医療療育センターと特別支援学校

が協力して、教育や発達に関する一人一人の相談に応じています。



県立医療療育センター

総合相談・医療療育連携室
(子育てや教育、入所・通園、地域の福祉サービス等に関する相談)
TEL:018-826-8031 (受付時間 9時~17時)

発達障害者支援センター ふきのとう秋田
(発達障害児・者等の教育や療育、生活、就労等に関する相談)
TEL:018-826-8030 (受付時間 9時~17時)

〒010-1409 秋田市南ケ丘一丁目1番2号

視覚に障害のある子どもの教育

視覚に障害のある子どものために、**県立視覚支援学校**があります。

点字や、弱視レンズ等の視覚補助具で拡大した文字等により、幼稚園、小・中学校等及び高等学校に準ずる教育を行っています。高等部専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等の資格取得を目指した専門教育を行っています。

視覚支援学校に設置している**ロービジョン支援センター**では、視覚に障害のある方への教育相談・支援を行っており、3歳未満の子どもの教育相談やセンター教室での定期的な教育相談にも応じています。県内4地区では、幼児から成人までを対象にした、月1回の**サテライト教室**を実施し、教育相談や学習支援を行っています。

小・中学校等の**弱視特別支援学級**では、弱視レンズ等の効果的な活用により、事物を明確に認識する力を高めながら教科指導等を行っています。



幼稚園部：さつまいもの触察



中学部：単眼鏡を使った学習



高等部：書見台とルーペを使った学習

聴覚に障害のある子どもの教育

聴覚に障害のある子どものために、**県立聴覚支援学校**があります。

補聴器や人工内耳を活用して、幼稚園、小・中学校等及び高等学校に準ずる教育を行っています。併せて、音や言葉を聞き分ける学習や一人一人に応じたコミュニケーション手段の習得のために必要な学習を実施しています。高等部専攻科では、産業技術科、情報デザイン科において、専門技術を身に付けるための専門教科を設定しています。

聴覚支援学校に設置している**きこえとことば支援センター**では、聴覚に障害のある方への教育相談・支援を行っており、3歳未満の子どもの教育相談や「通級による指導」も実施しています。県内2地区では、難聴のある幼児児童生徒を対象とした、週1回の**サテライト教室**を行っています。

小・中学校等の**難聴特別支援学級**では、補聴器の活用や子どもの聞こえを生かすことによって、抽象的な言葉の理解を促しながら教科指導等を進めています。



幼稚園部：係活動を通しての挨拶の学習



小学部：個に応じた方法を使った発表



中学部：赤外線補聴システムを活用しての学習

肢体不自由のある子どもの教育

肢体不自由のある子どものために、**県立秋田きらり支援学校**があります。

小・中学校等及び高等学校に準ずる教育や、知的な発達の遅れを併せ有する子どものための教育の他、健康の保持増進、運動動作やコミュニケーション能力等の向上を目指した教育も行っています。また、県立医療療育センターが隣接しており、入院の必要な子どもに対しても、医療、福祉等の関係機関と連携した教育活動を実施しています。

小・中学校等の**肢体不自由特別支援学級**では、教材・教具の工夫やコンピュータ等の活用により各教科等の学習を行っています。



小学部：補助具を使用してのサンバホイッスルの演奏



中学部：卓球バレー



高等部：補助具を用いた大根の収穫

病気の子どもや体の弱い子どもの教育

県立秋田きらり支援学校では病気の子どもや体の弱い子どものための教育を行っています。病院（中通総合病院、医療療育センター）に入院して治療を受けている子どもに対しては、訪問教育も行っています。**県立ゆり支援学校**でも、由利組合総合病院において同様の訪問教育を行っています。

また、県立秋田きらり支援学校に設置している**病弱教育サポートセンター**では、入院中や自宅療養中の子どもを支えるために、全県域での教育相談・支援を行っており、病院や在籍する学校・園との連絡調整や復学までの支援にも応じています。

小・中学校等の**病弱・身体虚弱特別支援学級**では、医療や生活の管理を必要としながらも自宅から通学できる子どもに対して、個々に必要な支援や配慮の下で指導を行っています。病院（秋田大学医学部附属病院等）内に設置された**病弱・身体虚弱特別支援学級**では、病院に入院して治療を受けている子どもに対して、病状に配慮しながら指導を行っています。

独立行政法人国立病院機構あきた病院で治療を受けている子どものために、**県立ゆり支援学校道川分教室**があります。道川分教室では、一人一人の障害や発達の状態等を踏まえ、感覚や知覚を生かし、コミュニケーションの力を育てながら調和のとれた発達を促すことを目指した学習を中心に行っています。



病弱教育サポートセンターでの中学生への支援：ICTを活用した病室での行事参加



小学部：光を使った学習～星めぐり～

知的に障害のある子どもの教育

主に知的障害の子どものための教育を行う特別支援学校が、県内には本分校合わせて**12校**あります。小学部では基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、具体的な生活場面を通して生活に役立つ言葉や数等の学習を行っています。

中学部や高等部では、作業学習や職場・施設で実際に働く体験（産業現場等における実習）等の、将来の社会的自立に向けた実践的・体験的な学習を行っています。**県立栗田支援学校高等部**には、職業学科もあります。

小・中学校等の**知的障害特別支援学級**では、小集団の中で、各教科等の学習や生活に役立つ学習を個に応じて行っています。



小学部：生活単元学習
～おべんとうやさん～



中学部：作業学習
～移動棚の製作～



高等部職業学科：家政（専門教科）
～ランチづくりの営業に向けて～

情緒面や行動面に対して支援が必要な子どもの教育

心理的な要因により学校生活への適応が困難な子どもや、人とのコミュニケーションや行動面で課題のある子どもは、小・中学校等の**自閉症・情緒障害特別支援学級**や通常の学級において、特別な支援や配慮の下で教育を受けています。

見通しをもって学習に取り組むことができるように、具体物や絵、図、写真等の視覚的な手がかりの活用や、環境の配慮等、障害特性に応じた方法を工夫して指導しています。

毎日学校へ通って教育を受けることが難しい子どもの教育（訪問教育）

医療や介護を常時必要とするために、毎日学校へ通って教育を受けることが難しい子どもに対しては、家庭や病院に教師を派遣する訪問教育を行っています。訪問教育は、週3日1回2時間程度を標準とし、それぞれの子どもの状態に応じて回数や時間を設定しています。



訪問教育：自宅での季節行事

日常的に医療的ケアが必要な子どもへの対応

日常的に医療的ケアが必要な子どものために、特別支援学校に看護師を配置し、医療機関と連携しながら、安全で安心な教育ができるよう支援しています。



特別支援学校

学校名	対応する主障害	設置学部	訪問教育	寄宿舎	スクールバス
視覚支援学校	視覚障害	幼・小・中・高・専		○	○
聴覚支援学校	聴覚障害	幼・小・中・高・専		○	○
秋田きらり支援学校	肢体不自由	小・中・高	○		○
比内支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
同 かつの校	知的障害	小・中・高			○
同 たかのす校	知的障害	小・中・高			○
能代支援学校	知的障害	小・中・高		○	○
支援学校天王みどり学園	知的障害	小・中・高	○		○
栗田支援学校	知的障害	小・中・高		○	○
ゆり支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
同 道川分教室	病弱及び重度・重複障害	小・中・高	○		
大曲支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
同 せんぼく校	知的障害	小・中・高	○		○
横手支援学校	知的障害	小・中・高	○		○
稲川支援学校	知的障害	小・中・高			○
秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校	知的障害	小・中・高			

特別支援学級

(学級数)

	小学校	中学校	合計
知的障害	167	80	247
肢体不自由	22	9	31
病弱・身体虚弱	27	11	38
弱 視	6	0	6
難 聴	27	7	34
自閉症・情緒障害	154	82	236
合計	403	189	592

小・中学校等の通常の学級及び高等学校における指導・支援

通常の学級に在籍している場合は、障害やその特性、環境の調整に配慮し、授業や学校生活の中で、指導内容・方法を工夫して、個に応じた指導・支援を行っています。

小・中学校等及び高等学校における通級による指導

【小学校】

※1 ※2

市町村	設置校名	言 学
鹿 角 市	花輪小学校	○
大 館 市	桂城小学校	○
	扇田小学校	○
北 秋 田 市	鷹巣小学校	○
能 代 市	湍城南小学校	○
	第四小学校	○
三 種 町	湖北小学校	○
男 鹿 市	船川第一小学校	○
潟 上 市	出戸小学校	○
五 城 目 町	五城目小学校	○
秋 田 市	中通小学校	○
	旭南小学校	○
	土崎小学校	○
	桜小学校	○
	日新小学校	○

市町村	設置校名	言 学
由利本荘市	鶴舞小学校	○
	矢島小学校	○
にかほ市	象潟小学校	○
大 仙 市	大曲小学校	○
	花館小学校	○
仙 北 市	角館小学校	○
	生保内小学校	○
美 郷 町	六郷小学校	○
横 手 市	朝倉小学校	○
	十文字小学校	○
湯 沢 市	湯沢西小学校	○
羽 後 町	西馬音内小学校	○

※1 言…主に言語障害を対象とする通級指導教室
※2 学…主にCLDやADHDを対象とする通級指導教室

【中学校】

市町村	設置校名	学
鹿 角 市	花輪中学校	○
大 館 市	第一中学校	○
北 秋 田 市	鷹巣中学校	○
能 代 市	能代第二中学校	○
秋 田 市	秋田市教育研究所（山王中学校）	○
由利本荘市	本荘北中学校	○
にかほ市	仁賀保中学校	○
大 仙 市	大曲中学校	○
仙 北 市	角館中学校	○
横 手 市	横手北中学校	○
湯 沢 市	湯沢南中学校	○

【高等学校】

市町村	設置校名	学
大 館 市	県立大館鳳鳴高等学校定時制	○
秋 田 市	県立秋田明徳館高等学校	○
横 手 市	県立横手高等学校定時制	○

共に学び 共に育つ～交流及び共同学習～

特別支援学校・特別支援学級と通常の学級における交流及び共同学習では、障害のある子どもと障害のない子どもが共に活動する機会を通して、互いに理解を深め合い、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学んでいます。

特別支援学校における交流及び共同学習



小学校での居住地校交流



地域の中学校との交流



地域の高等学校との交流

早期からの継続した支援

各市町村では、教育や医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携を進めており、乳幼児期から成人期までのライフステージに応じて、関係者がつながりながら必要な指導や支援を行うことを大切にしています。

乳幼児期から学校卒業後までの一貫した教育的支援

〈乳幼児期〉 幼稚園・保育所・認定こども園等	就学	小学校 義務教育学校	中学校	高等学校	卒業	〈成人期〉
特別支援学校幼稚部		小学部	中学部	高等部		

就学支援シート／個別の支援計画／個別の移行支援計画
個別の指導計画

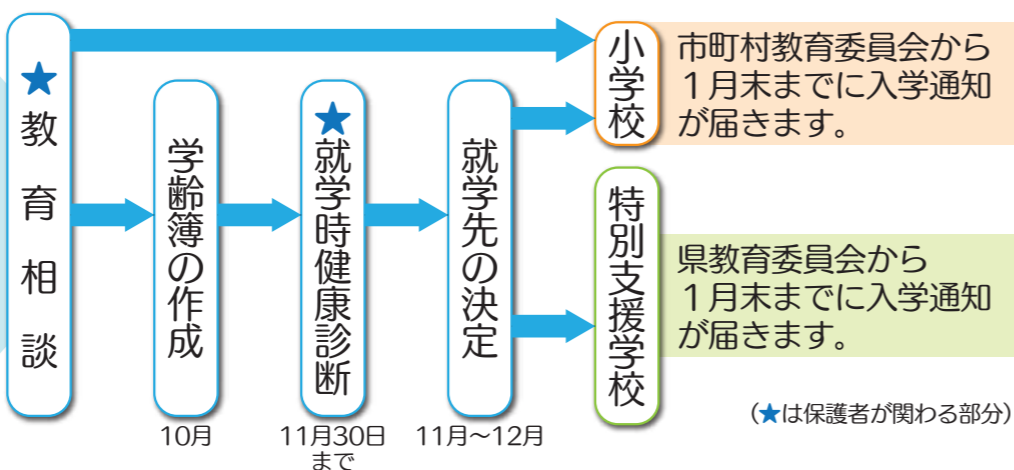


各市町村や学校（園）等において、就学前から高等学校までの間、子どもの支援に関する情報を確実に引き継ぐよう、諸計画の作成や活用を進めています。

早期からの教育相談・支援は、よりよい学びのスタートの鍵！

就学の手続きの流れ～新小学1年生の場合～

- ・教育委員会へ直接問合せ
- ・園や学校へ相談
- ・相談会*へ参加
- ・学校見学申込み等



就学に当たっては、**できるだけ早い時期から**情報を集め、子どもに適した教育内容や環境、適切な支援について相談したり、学校見学をしたりして、学びの場を検討していくことが大切です。学校公開や地域のイベント等でも、学校や児童生徒の学びの様子を知ることができます。

※県と市町村が共催で行う「就学や教育に関する相談会」の他に、市町村独自で相談会を実施しているところもあります。お問い合わせやお申込みはお住まいの市町村教育委員会へ

秋田県では、保護者が子どもの成長や健康診断、各種相談の履歴を記録し、継続的な相談・支援を受けられるようにするための「かがやき手帳」や、就学に関するリーフレットを作成しています。相談会等で差し上げていますが、県の特別支援教育課ホームページからもダウンロードできますので御活用ください。

美の国あきたネット 特別支援教育課

検索



将来を見通したキャリア教育

障害のある子どもたちにとって、一人一人が「生きる力」を身に付け、地域の中で力を発揮し、自立と社会参加を目指していくことは、キャリア発達を促す上でとても重要です。

特別支援学校では、日々の教育活動全体の中で、役割活動や職場実習等の実際の、体験的な学習を行っています。様々な人々とのコミュニケーションを通して、自分のよさに気づき、自信を付け、将来の夢や希望に向かって努力する大切さについて、体験から学んでいます。



小学部：遊びの指導（パン屋さん）



中学部：作業学習（木工班）



高等部：作業学習（農作業班）

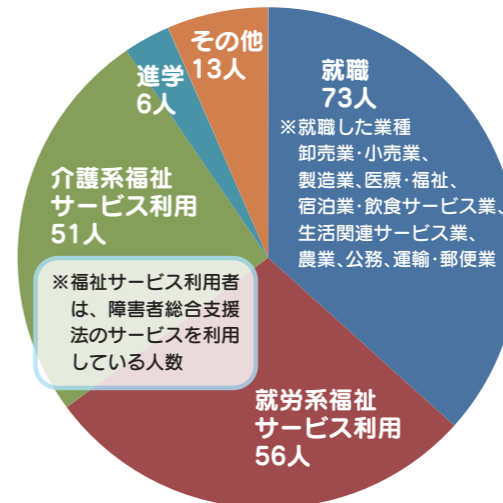


寄宿舎：クリーニング教室



高等部専攻科：保健医療科の臨床実習

令和2年度
特別支援学校高等部卒業生 進路先状況
(令和3年5月1日現在)



高等部：現場実習（白衣の縫製）



高等部：部活動・文化部（写真班）

地域と共に

特別支援学校では、地域の方々に支えられ、学習発表や職場実習などの場を得ています。学習の成果を披露したり活動を共にしたりすることによって、地域に深く根ざした学習活動を進めています。



小学部：リンゴ狩り
～地域のリンゴ農家との交流～



小学部：校外学習
～地域の市場見学～



中学部：お茶体験
～地域の方を講師に迎えて～



中学部：地域貢献活動
～地域の会館の清掃～



高等部：地方創生ワークショップ
～地域の高等学校との合同参加による話し合い～



高等部：鹿角地域振興局長と「リンゴ・ゴー」
～いきいき地域づくり活動表彰～